

特色ある区づくり事業 (地域再発見事業) 北区郷土博物館 常設展示リニューアル

平成25年10月に、北区自治協議会から4項目からなる「北区郷土博物館の充実に関する意見書」が提出され、下記のとおり回答いたしました。

北区自治協議会 意見書事項	意見書事項 回答
<p>1 現在の常設展示については、収蔵品を基礎に、古代、中世、近現代などの通史展示に更新すること。</p>	<p>考古、民俗、歴史、美術など約46,000点の収蔵資料を有効に活用し、子供たちをはじめ、区民が地域の大地や歴史文化、伝統を理解・共有し、北区の魅力を再発見できるような常設展示への変更を検討します。</p> <p>検討にあたっては、北区郷土博物館協議会と十分協議を行い、北区自治協議会にご報告しながら進めていきます。</p>
<p>2 弦巻松蔭コレクションについては、寄贈の趣旨を踏まえて、区施設での常設展示を検討するとともに、博物館での企画展や特別展を定期的実施すること。</p>	<p>北区郷土博物館の常設展示「弦巻松蔭の世界」は、15年が経ち、その間、生誕百年事業などを実施し、人となりと業績を市内外に周知することができました。今後は、常設展示の中に松蔭展示スペースを確保するとともに、定期的な企画展を通して弦巻松蔭を紹介することを検討します。</p>
<p>3 「横井の丘ふるさと資料館」については、トイレなどの設備も不十分であり、建物も老朽化していることから、利用者の利便性向上や展示資料の保全のため、早急に今後のあり方について検討すること。</p>	<p>分館「横井の丘ふるさと資料館」は、考古出土品や昔の生活道具、舟や漁具、農具、木崎村小作争議資料などが展示され、小学校のふるさと学習などで利用されています。しかし、無人のうえ、トイレもなく、利用環境が整っていない状況です。</p> <p>今後は将来の使用に耐えうるか、耐震診断等を実施し、同館活用の検討を進めます。</p>
<p>4 新潟市史、豊栄市史等で記述されている北区の歴史を簡易的に一体化した区史をつくること。また、児童生徒等の教育にも活用すること。</p>	<p>現在、北区の歴史文化に関する1冊にまとめた刊行物はなく、北区の一体感の醸成のためにも必要な図書と考えます。北区の魅力再発見する常設展示を展開する中で、今後は皆様のご意見を伺いながら検討していきます。</p>

本事業の実施にあたっては、特色ある区づくり事業の地域再発見事業として平成26年度から平成28年までの3カ年計画、総額10,000千円で次のように実施予定です。

実施年度	平成26年度(1年目)	平成27年度(2年目)	平成28年度(3年目)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・北区郷土博物館協議会、自治協議会と協議し、展示テーマなどを検討し、常設展示室の改装 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・映像展示、グラフィックパネルなどの作成 ・演示具、複製資料製作 ・横井の丘ふるさと資料館耐震診断委託 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルオープン ・展示説明ボランティアの区民公募 ・地域の身近な遺産を自主的に調べ、祖先の知恵や工夫を学ぶ「ふるさと少年調査団」の結成 など

これらの事業を通して、区民の一体感の醸成や地域の歴史文化を誇りに思い、地域に根ざした活動を受け継いでいく人材の育成、北区の貴重な資料の保存収集の拡大などの事業効果が期待されています。